

社会資本総合整備計画 事後評価

平成28年3月
愛知県岡崎市

社会資本総合整備計画（防災・安全整備）事後評価書

平成28年3月31日

計画の名称	3 おかざき 城下まち強靱化計画		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	愛知県 岡崎市
計画の目標			

下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な老朽化対策及び事前防災・減災対策を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）	<p>①合流式下水道の汚濁負荷量（BOD）の分流並み達成率を95%（H21）から100%（H25）へ増加させる。 ②遮集管の建設と雨水吐室に夾雑物削減施設9箇所（H21）を53箇所（H25）へ増加させる。 ③管渠の耐震対策実施率を40%（H21）から80%（H26）へ増加させる。 ④ポンプ場の耐震対策実施率を37%（H21）から50%（H26）へ増加させる。（その他関連する事業を含む） ⑤災害対応トイレ整備率を25%（H21）から60%（H26）へ増加させる。 ⑥都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を78.0%（H23）から79.0%（H26）へ増加させる。 ⑦雨水整備率（1/10規模の整備率）を21%（H23）から40%（H26）へ増加させる。 ⑧管渠の長寿命化対策実施率を0%（H24）から30%へ増加させる。 ⑨ポンプ場の長寿命化対策実施率を0%（H24）から13%へ増加させる。 ⑩雨水貯留浸透施設設置支援数を123基（H22）から396基（H26）へ増加させる。</p>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
①汚濁負荷量の分流並み達成率	95 %	— %	100 %	
②雨水吐きの夾雑物削減施設の設置箇所数。	9 箇所	24 箇所	53 箇所	
③管渠の耐震対策実施率 耐震対策を実施した延長(km)/重要な管路に位置づけられた延長(km)	40 %	70 %	80 %	
④ポンプ場の耐震対策実施率（その他関連する事業を含む） 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設（箇所）/全施設数（箇所）	37 %	50 %	50 %	
⑤災害対応トイレ整備率 設置済み避難所数（箇所）/下水道認可区域内の広域及び一時避難所数（箇所）	25 %	60 %	60 %	
⑥都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合。 = (1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積(ha)) / (1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積(ha))	---	78.5 %	79.0 %	最終目標値には、福岡雨水ポンプ場の整備値を含んでおらず、H29に完成すると整備率は、80%となります。
⑦雨水整備率（1/10規模の整備率） 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合。 = (1/10確率降雨相当の雨水整備完了面積(ha)) / (1/10確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積(ha))	---	30 %	40 %	最終目標値には、六名雨水ポンプ場の整備値を含んでおらず、H29に完成すると整備率は、43%となります。
⑧管渠の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した延長(km)/長寿命化計画に位置付けを行った延長(km)	---	---	30.0 %	
⑨ポンプ場の長寿命化対策実施率 長寿命化対策を実施した資産数/長寿命化計画に位置付けを行った資産数	---	---	13.0 %	
⑩雨水貯留浸透施設設置支援数。	---	266 基	396 基	

全体事業費	合計 (A+B+C)	21,018百万円	A	19,740百万円	B	0百万円	C	1,278百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.08%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	------	---	----------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員により評価を実施	平成28年1月
	公表の方法
	岡崎市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A1 下水道事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26				
1-A-1	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	矢作川処理区	遮集管改築 1式	岡崎市						57	合流改善		
1-A-2	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	矢作川処理区	夾雑物削減施設44箇所	岡崎市						116	合流改善		
1-A-3	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	岡崎北部処理分区(地震対策)	遮集管 φ=250~2000mm L=364m	岡崎市						551	総合地震		
1-A-4	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	矢作川処理区(地震対策)	管渠耐震対策	岡崎市						233	総合地震		
1-A-5	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	合流	改築	矢作川処理区(老朽施設)	計画策定、老朽管対策、管更生	岡崎市						1,654	長寿命化		
1-A-6	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水P	改築	早川・大門・赤浜雨水ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市						211	総合地震		
1-A-7	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	汚水P	改築	吹矢・大西汚水中継ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市						171	総合地震		
1-A-8	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	全般	新設	災害対応トイレ(マンホールトイレ)	災害対応トイレ 21箇所	岡崎市						121	総合地震		
1-A-9	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	早川はじめ他1排水区	雨水管φ1800~2500mm L=1489m	岡崎市						954			
1-A-10	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	伊賀川はじめ他2排水区	雨水管φ1650~3500mm L=0m	岡崎市						52			
1-A-11	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	乙川はじめ他1排水区	雨水管φ600~φ1800mm L=0m	岡崎市						63			
1-A-12	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	竜泉寺川排水区	雨水管φ1500mm L=442m	岡崎市						154			
1-A-13	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	六斗目川排水区	雨水管φ1100mm L=0m	岡崎市						2			
1-A-14	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	占部川排水区	雨水管φ1500~2800mm L=1802m	岡崎市						2,321			
1-A-15	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	砂川排水区	雨水管φ1000~φ2500mm L=0m	岡崎市						40			
1-A-16	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	広田川排水区	雨水管φ600~φ1800mm L=479m	岡崎市						732			
1-A-17	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	東鹿乗川排水区	雨水管φ2500×1800mm L=118m	岡崎市						204			
1-A-18	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	増設	大門雨水ポンプ場	処理能力43.3m ³ /s	岡崎市						1,129			
1-A-19	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	増設	針崎雨水ポンプ場	処理能力11.8m ³ /s	岡崎市						2,158			
1-A-20	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	中島雨水ポンプ場	処理能力3.4m ³ /s	岡崎市						951			
1-A-21	下水道	一般	岡崎市	間接	民間	雨水	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留(65基/年間)	岡崎市						44	総合浸水		
1-A-22	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	福岡雨水ポンプ場	処理能力4.6m ³ /s	岡崎市						436			
1-A-23	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	雨水	新設	六名雨水ポンプ場	処理能力8.0m ³ /s	岡崎市						147			
1-A-24	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ場	改築	八帖・大門・赤浜・早川雨水ポンプ場、吹矢・大西汚水中継ポンプ場	ポンプ場改築 33資産	岡崎市						171	長寿命化		
												合計						12,670	

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H22	H23	H24	H25	H26					
1-C-1	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	災害対応トイレ(マンホールトイレ)	トイレ備品購入、災害対応トイレ	岡崎市							28			
1-C-2	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	改築	矢作川処理区(老朽施設)	計画策定、老朽管対策、管更生	岡崎市							161			
1-C-3	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	早川はじめ他1排水区	雨水枝線 L=8m	岡崎市							65			
1-C-4	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	伊賀川はじめ他2排水区	雨水枝線 L=0m	岡崎市							0			
1-C-5	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	乙川はじめ他1排水区	雨水枝線 L=0m	岡崎市							0			
1-C-6	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	新設	占部川排水区	雨水枝線 L=0m	岡崎市							0			
												合計						254	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	1ha未満の避難所においても災害トイレを設置することにより、全市域において減災対策を行うことができ、災害時の住民の安全と安心をより確保できる。また、トイレ備品(帆式テント)を購入することにより、災害避難場所において安心して利用できる施設の確保を図る。	
1-C-2	管渠の改築更新のうちで、基幹事業となる管路施設と接続した枝線の更新を一体的に行うことにより、効率的な更新を行うことができる。	
1-C-3	基幹事業(1-A-9)で整備する管渠に接続する雨水枝線を整備することにより、効率的に浸水被害の軽減を図る。	
1-C-4	基幹事業(1-A-10)で整備する管渠に接続する雨水枝線を整備することにより、効率的に浸水被害の軽減を図る。	
1-C-5	基幹事業(1-A-11)で整備する管渠に接続する雨水枝線を整備することにより、効率的に浸水被害の軽減を図る。	
1-C-6	基幹事業(1-A-14)で整備する管渠に接続する雨水枝線を整備することにより、効率的に浸水被害の軽減を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道施設の計画的な改築及び耐震化を推進し、下水道としての機能確保と、道路陥没や地震時等による二次災害を防止することに寄与した。
- ・雨水事業において面整備を進めた結果、浸水安全度が向上した。

II 定量的指標の達成状況	指標①（汚濁負荷量の分流並み達成率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	100%		
	指標②（雨水吐きの夾雑物削減施設の設置箇所数）	最終目標値	53箇所	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	53箇所		
	指標③（管渠の耐震対策実施率）	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	80.9%		
	指標④（ポンプ場の耐震対策実施率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	50%		
	指標⑤（災害対応トイレ整備率）	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	60%		
	指標⑥（都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率））	最終目標値	79%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	79.6%		
	指標⑦（雨水整備率（1/10規模の整備率））	最終目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因	積極的な事業の推進を図り、最終目標値を上回って達成した。
		最終実績値	55.6%		
	指標⑧（管渠の長寿命化対策実施率）	最終目標値	30%	目標値と実績値に差が出た要因	積極的な事業の推進を図り、最終目標値を上回って達成した。
		最終実績値	66.9%		
	指標⑨（ポンプ場の長寿命化対策実施率）	最終目標値	13%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り、事業を実施することができた。
		最終実績値	13%		
	指標⑩（雨水貯留浸透施設設置支援数）	最終目標値	396基	目標値と実績値に差が出た要因	過去の実績数は、平成21年度72基、22年度51基、23年度83基、24年度60基、25年度67基、26年度43基であり減少傾向にある。
		最終実績値	376基		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 特になし
(必要に応じて記述)

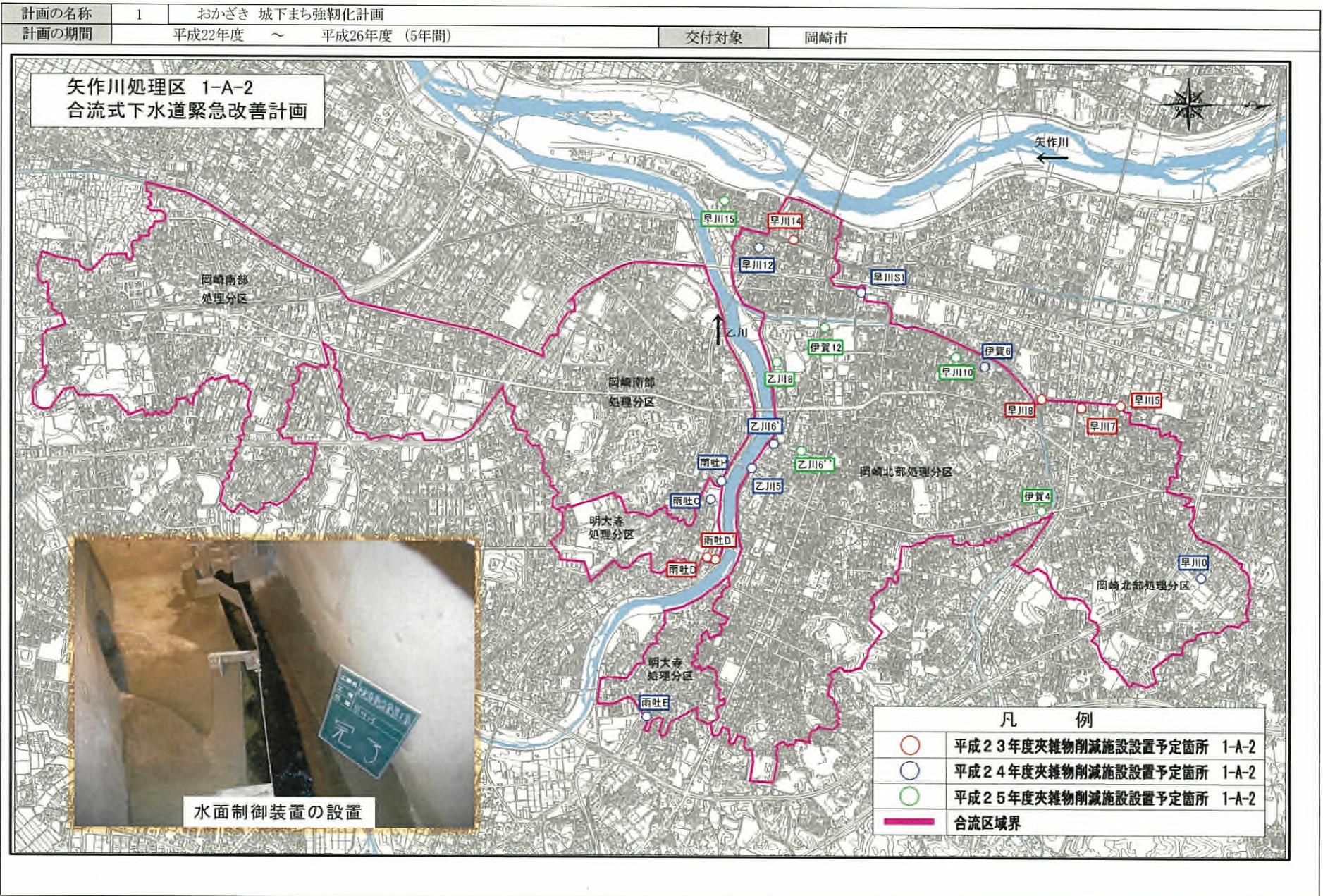
3. 特記事項 (今後の方針等)

今後も引き続き、超過降雨時における浸水対策および計画的な下水道施設の改築等を推進し、機能確保と、道路陥没や地震時等による二次災害を防止することで安全安心なまちづくりに寄与していく。
併せて、雨水貯留浸透施設設置の普及活動を継続的に行い、啓発活動を強化することで自助による浸水軽減も進めていく。

計画の名称	1 おかざき 城下まち強靭化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		



防災・安全整備



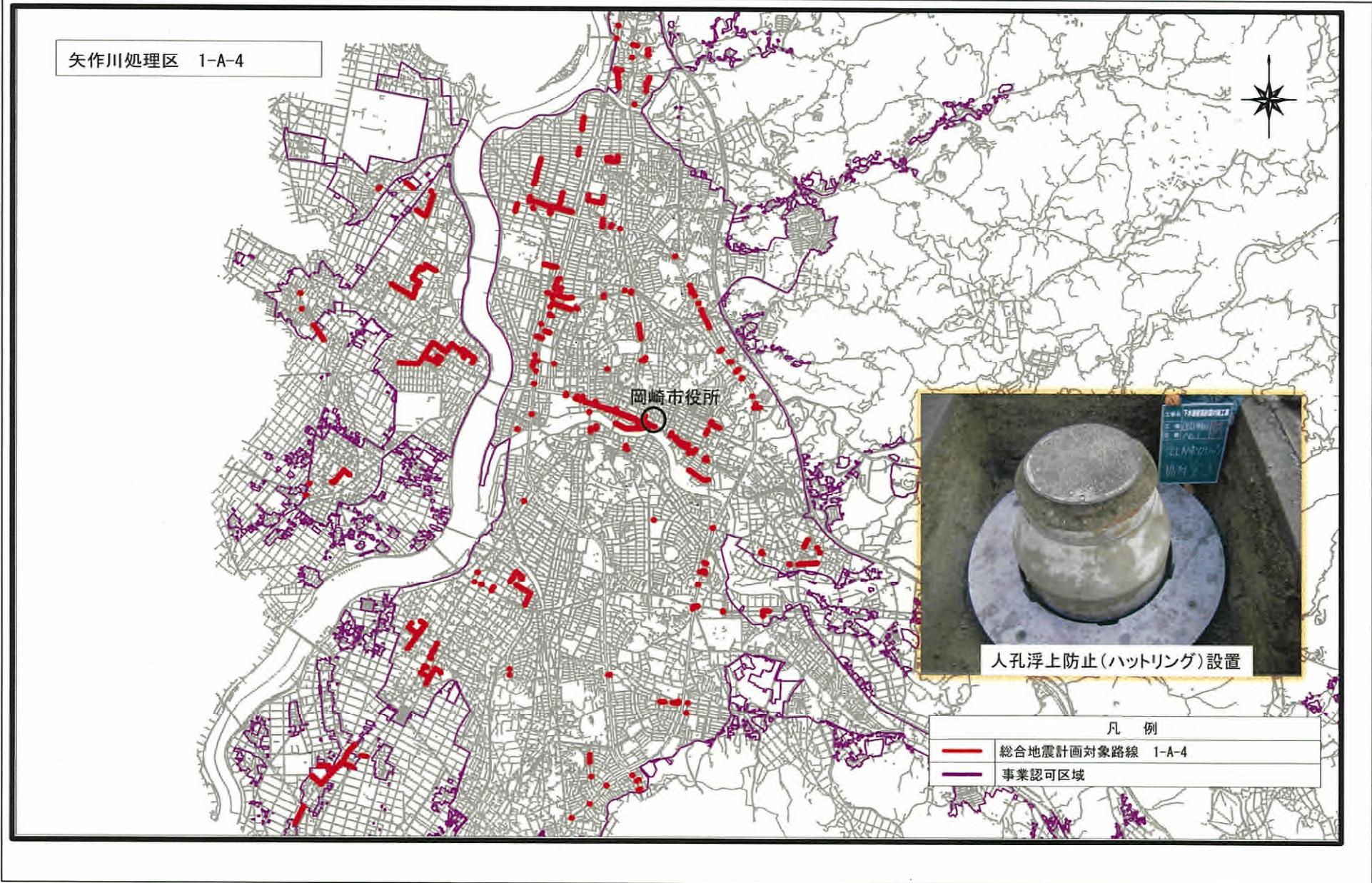
防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



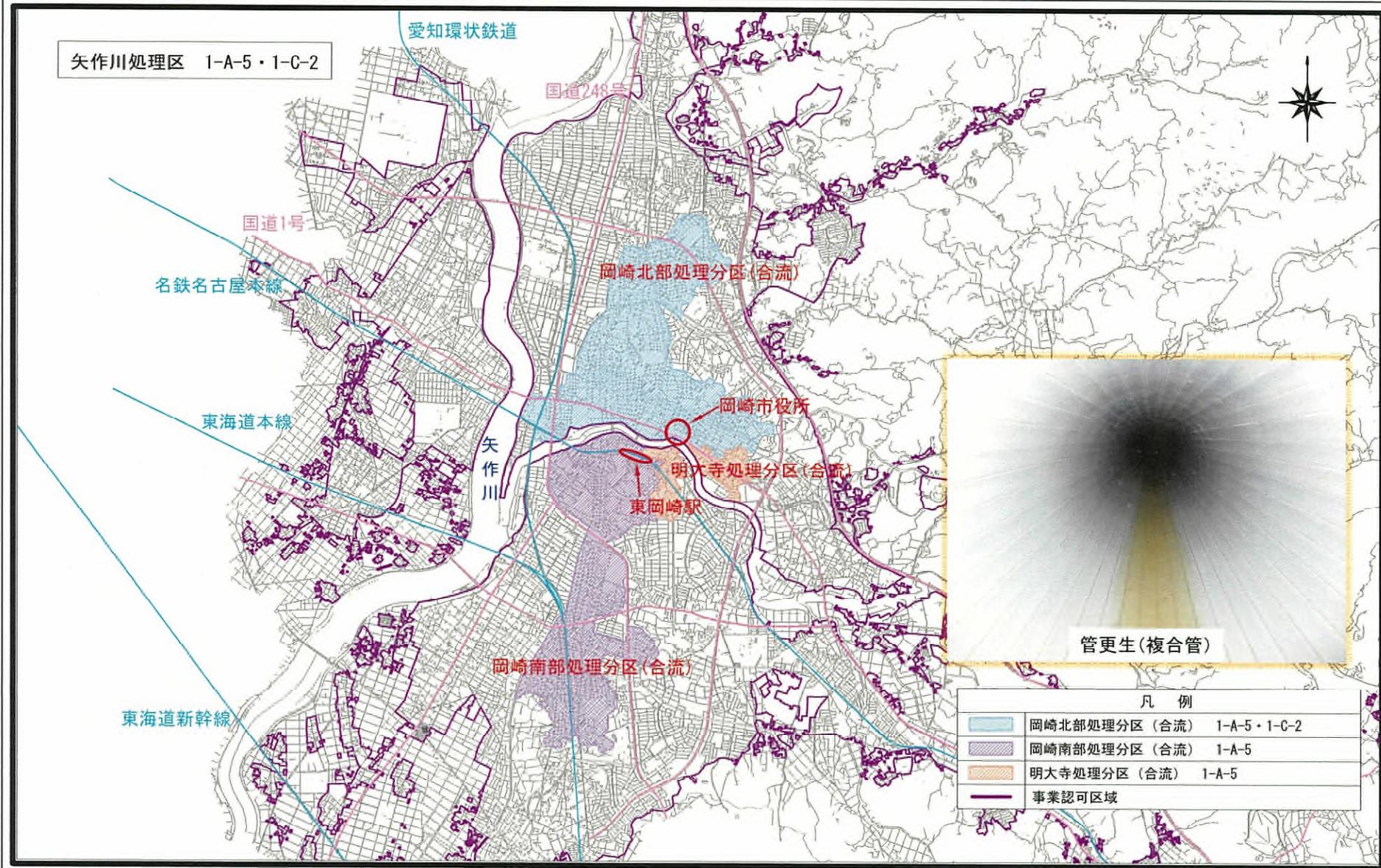
防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			



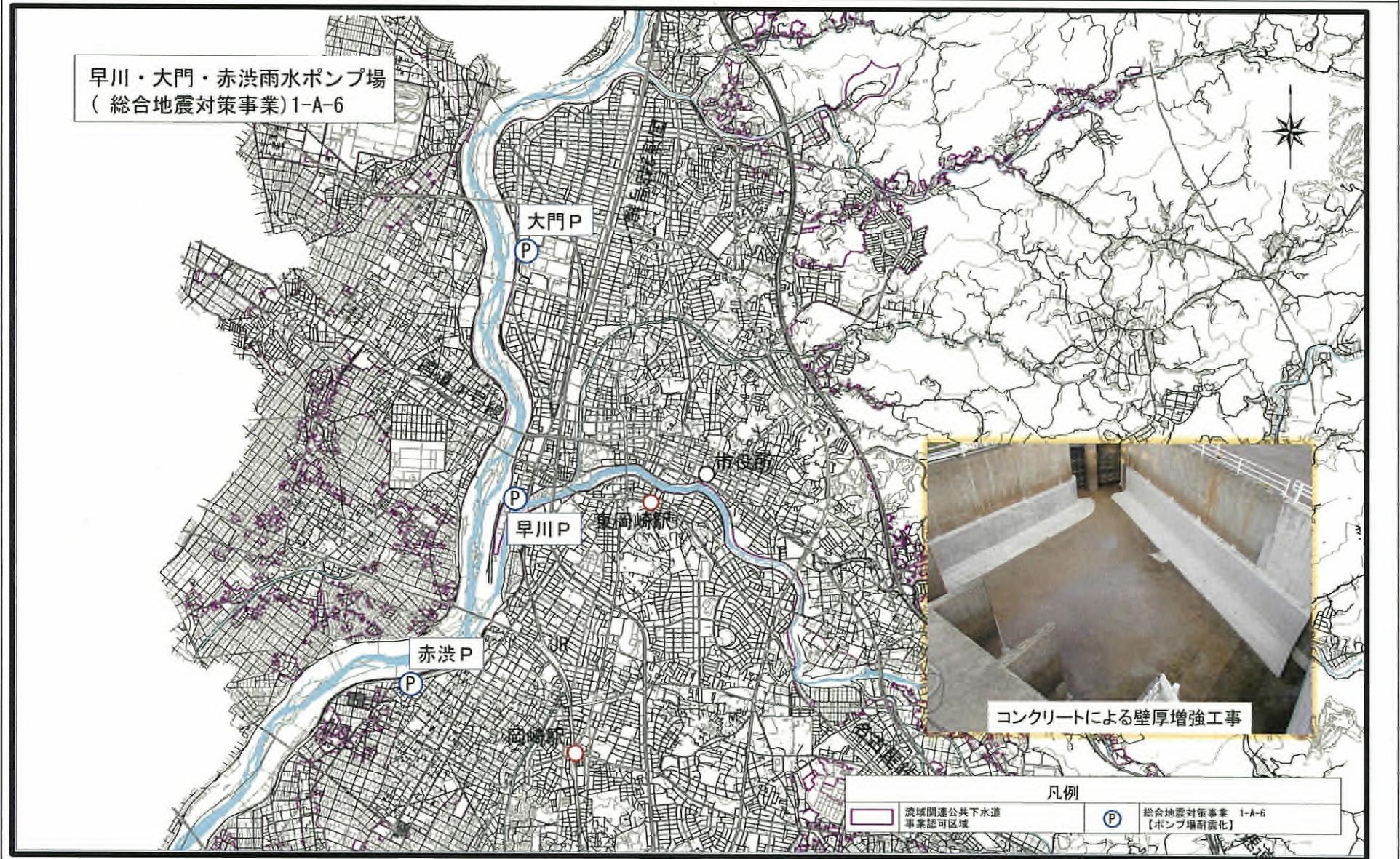
防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



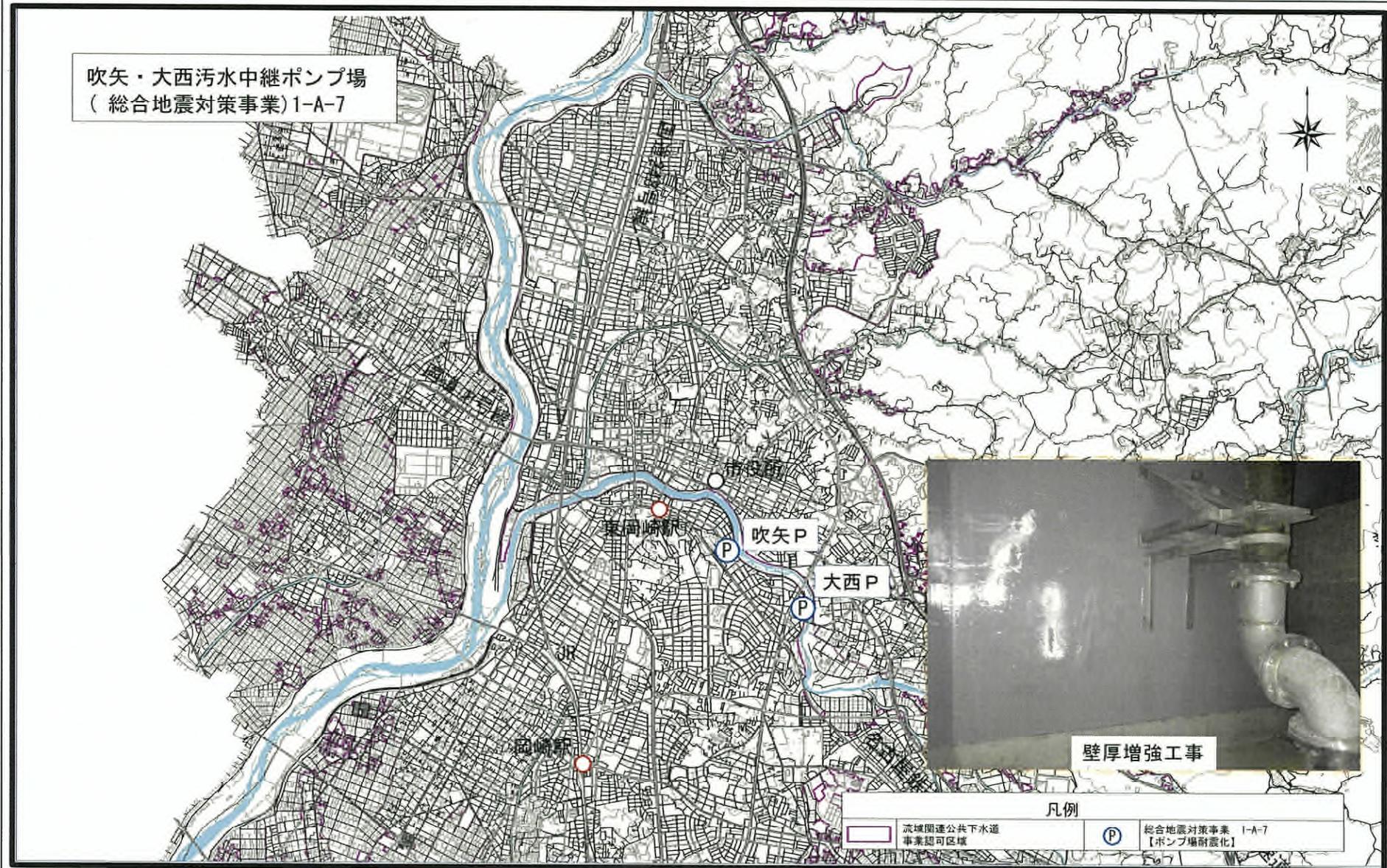
防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			

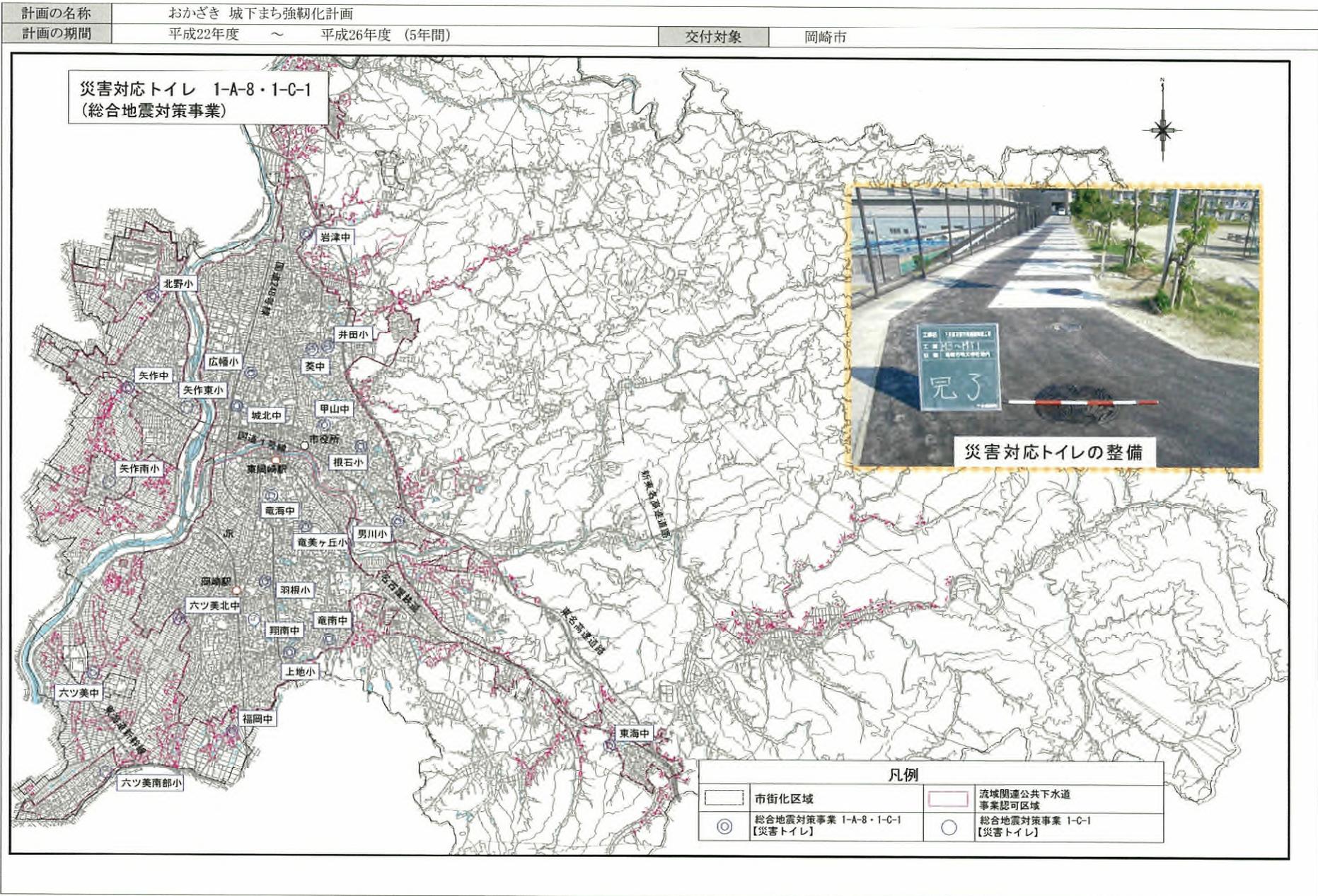


防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			

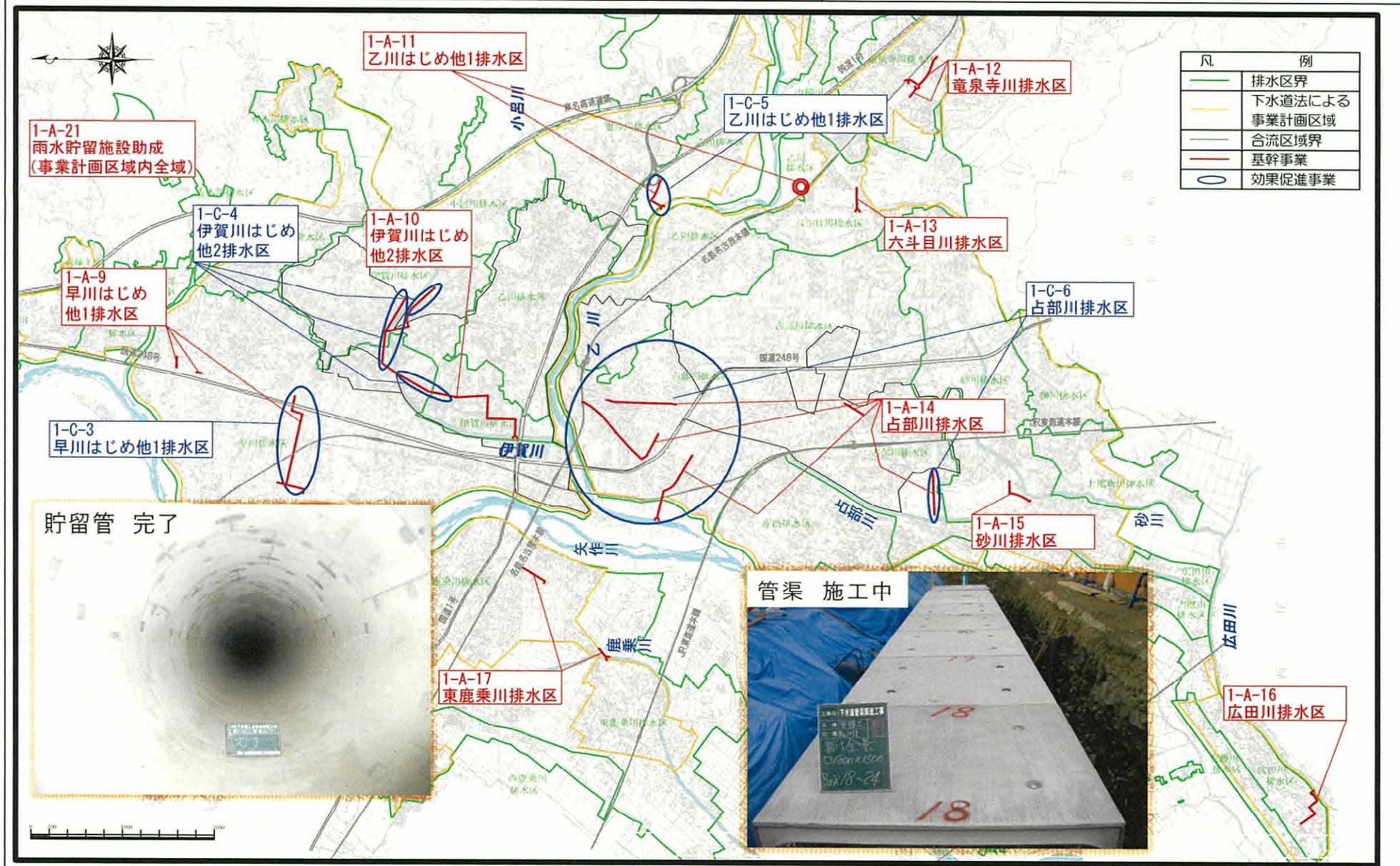


防災・安全整備



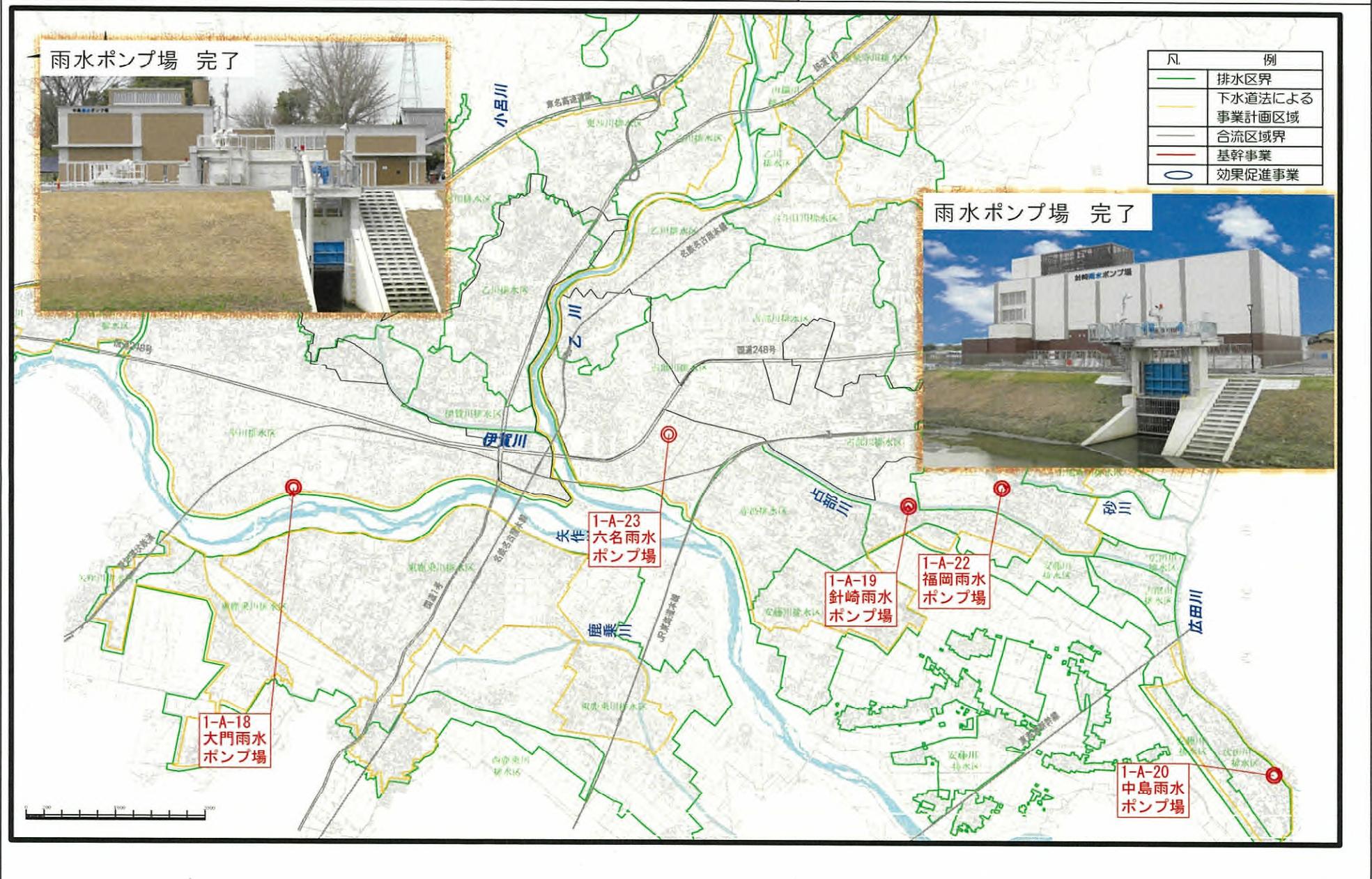
防災・安全整備

計画の名称	おかざき 城下まち強靱化計画		交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



防災・安全整備

計画の名称	おかざき 城下まち強靱化計画		交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



凡	例
	排水区界
	下水道法による事業計画区域
	合流区域界
	基幹事業
	効果促進事業

雨水ポンプ場 完了

雨水ポンプ場 完了

1-A-18
大門雨水
ポンプ場

1-A-23
六名雨水
ポンプ場

1-A-19
針崎雨水
ポンプ場

1-A-22
福岡雨水
ポンプ場

1-A-20
中島雨水
ポンプ場

防災・安全整備

計画の名称	1	おかざき 城下まち強靱化計画	交付対象	岡崎市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			

八帖・大門・赤渋・早川雨水ポンプ場
吹矢・大西汚水中継ポンプ場
(下水道長寿命化支援制度) I-A-24

